

# えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報のタイトルにしています。<学校HP <https://isawachu.edumap.jp>>

～「夢や目標に向けて努力している」が大きく向上～

## まなびフェストアンケート集計結果①

「令和7年度まなびフェストアンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。

集計結果について、昨年の同時期と比較しながらまとめましたので、お知らせします。

<生徒アンケート> ※肯定的回答(「そう思う」「ややそう思う」の合計)を、全体に占める割合(%)で表しています。  
※「昨年比」に多少誤差があるのは、数値の小数第2位を四捨五入しているためです。

設問	昨年度	今年度	昨年比	参考
1 いじめはどんな理由があってもいけないと思う	97.5	98.0	+0.5	県目標値 100%
2 責任をもって自分の役割を果たしている	95.7	96.0	+0.4	
3 約束と期限を守っている	88.6	91.8	+3.2	
4 校地内外や地域であいさつを交わしている	94.4	93.2	-1.2	
5 時間を守って生活している	95.3	95.6	+0.2	
6 校舎に感謝し施設・用具をきれいに使っている	97.9	98.0	+0.1	
7 命と安全を意識し、落ち着いて生活している	98.6	97.5	-1.1	
8 悩みを抱え込まず相談している	80.0	83.0	+3.0	
9 部活動や校外活動等に意欲的に取り組んでいる	92.2	90.4	-1.8	
10 授業のまとめを書いたり友達に話したりしている	83.4	80.6	-2.9	
11 自分で計画を立てて勉強している	75.5	72.7	-2.9	
12 作品作り、応募や検定等に挑戦している	64.7	63.6	-1.1	
13 時間を自分で管理するため手帳を活用している	69.8	56.4	-13.4	
14 自分の夢や目標に向けて努力している	83.0	88.3	+5.4	県目標値 75.2%
15 地域の取組やボランティア活動に参加している	48.1	46.4	-1.7	
16 学校は楽しい	92.0	93.0	+1.0	県目標値 89%
17 悩みを相談できる人がいる	87.1	88.9	+1.7	
18 胆沢中生であることに自信と誇りを持っている	86.7	86.5	-0.2	
19 自分にはよいところがある	78.7	78.9	+0.2	県目標値 79%
20 失敗を恐れなくて挑戦している	79.6	81.5	+2.0	
21 授業が分かる	88.2	88.4	+0.1	
22 規則正しい生活ができている	83.5	87.9	+4.4	
23 困っている人がいたら助けたいと思う	99.1	98.3	-0.8	県目標値 積極肯定68%

自分の夢や目標に向けて努力している生徒の割合が上昇し、岩手県の目標値を大きく上回りました。また、「悩みを相談している」「相談できる人がいる」割合が、昨年度に引き続き上昇していることを嬉しく思います。

一方で、時間の自己管理や計画性のある家庭学習、地域貢献の意欲などに課題が見られるため、ご家庭や地域の皆様と連携しながら、学校からさらに働きかけていきたいと思っております。

<保護者アンケート> ※肯定的回答(「そう思う」「ややそう思う」の合計)を、全体に占める割合(%)で表しています。

学校の取組		昨年度	今年度	昨年比	
1	学校や学級の教育活動に関する情報提供(校報、通信、HP、マチコミメール等)は役立っている	95.0	96.0	+1.0	
2	学校は、テストや学力調査結果を知らせている	91.8	94.8	+3.0	
3	学校は、家庭学習の課題を計画的に出している	83.1	85.0	+1.9	
4	学校は、家庭との迅速な連携に努めている	82.3	86.2	+3.9	
5	学校は、しっかりと「いじめ」に対応している	77.8	80.1	+2.3	

今年度は家庭との連携についてどの項目も上昇しましたが、「子どもが学校からのおたよりを出さない」という悩みが多く寄せられました。いじめの対応については、ほとんどが教職員の見えないところで起こるため、保護者や地域の皆様からの情報提供をありがたく思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

子どもの様子		昨年度	今年度	昨年比	評価指標・達成状況
6	よく本を読んでいる	38.1	31.9	-6.2	
7	家族が言わなくても自分から勉強している	67.2	61.4	-5.8	70% ×
8	学校に行くことを楽しみにしている	79.9	84.8	+4.9	
9	悩みを抱え込まず相談している	85.3	83.6	-1.7	
10	仲の良い友達がいる	96.0	95.1	-0.9	

お様が「学校に行くことを楽しみにしている」と感じる割合が昨年度より大きく上昇しました。

読書について昨年度に引き続き下降していますが、ご家庭で本を読んでいる様子が見えないのでしょうか。学校では図書室が最も人気の場所で、1月末時点で20冊以上読んだ生徒が75名と割合が高く、200冊以上読んだ生徒もいます。

家庭の役割		昨年度	今年度	昨年比	評価指標・達成状況
11	子どものむし歯、疾病の治療に努めている	95.6	93.9	-1.7	80% ○
12	毎日、子どもにしっかりと朝食を食べさせている	94.2	93.9	-0.3	(県目標値 91%)
13	平日、子どもと夕食を一緒に食べている	89.0	89.3	+0.3	
14	学校からのお知らせ、おたよりに目を通している	87.5	87.2	-0.3	90% △
15	いじめはいけないと伝えている	99.2	99.0	-0.2	95% ○
16	子どもが使う情報端末(スマホ、ゲーム機など)にフィルタリングをかけている	78.0	79.4	+1.3	80% △
17	情報端末のルールを決めている	82.4	81.4	-1.0	90% ×
18	メディアに接する時間と就寝時刻を決めている	72.5	77.9	+5.4	80% △
19	近所の人への挨拶を勧めている	90.4	90.8	+0.4	
20	家庭における子どもの毎日の仕事(役割)を決めている	59.9	62.8	+2.9	60% ○
21	子どもと将来について話し合うときがある	88.4	87.4	-1.0	90% ×

本校の「まなびフェスト」の評価指標を参考として示しております。

むし歯や疾病の治療について(問11)、評価指標を上回ってはいますが、昨年度よりも自己評価が下がっています。各種検診後の治療について保健室よりおたよりを出しておりますが、実際に、治療完了報告がなされておらず、非常に心配している状況です。奥州市の医療費補助をご活用いただき、お子様の健康を第一にご対応いただきたいと存じます。

メディアに接する時間と就寝時刻(問18)について、「決めている」という割合は増えましたが、「決めているが子どもが守らない」という回答がありました。スマホ等の利用について、保護者の方が指導に悩んでいる様子が感じられました。

夢に向かって努力する生徒が増えていますので、ご家庭でもお子様の将来的な自立に向け「挨拶を勧める」「家庭で役割を持たせる」「将来について話し合う」ことをぜひ実践いただきたいと存じます。学校でも、生徒があいさつや清掃活動などの大切さを感じるよう、将来、社会の中で自立して生活できるように働きかけてまいります。